

## 令和6年度2月 理事会議事録

### I 概要

- 1 日 時：令和7年2月16日（日） 13：00～17：00
- 2 場 所：笠松運動公園アーチェリー場
- 3 出席理事：根本、大塚、大谷、和智脩（補助：蒲沢）、横山（補助：和智 利奈）  
提案説明者：内田、岩崎

### II 議事要旨

開会に先立ち、大塚理事長から関東連盟総会の報告

2027年開催の関ブロ茨城大会が笠松陸上競技場を予定していることなど

- 1 2025年度に向けた提案（内田さん・岩崎さん）※基本的に理事会で最終決定する。
  - 1) 月例・公認記録会を一定回数合体することについて  
担当者の負担軽減と公認記録会の開催回数増をねらう。
  - 2) 高体連との関係強化  
高校生の競技会経験および公認記録会参加者の拡大をねらう。
  - 3) ジュニア育成の取り組み  
競技会体験、モチベーション向上などをねらう。  
ジュニアの人数がすくないため、他県との交流を検討する。
  - 4) 協会保有弓具の活用  
現在は「試行的」に行っている。ILF形式の弓具等を効果的に活用するルールを定めていく。
- 2 2025年度活動（総会準備）
  - 1) 役員体制
    - ① 引き続き理事適任者をさがす
    - ② 各理事所管事務のリスト化をすすめている。理事でなくとも、規約に定める補助員として事務の一部を担ってもらえるように依頼する。
    - ③ 数が集まらない場合、理事担当業務の縮小（イベント等の簡易化や縮小）を提案する。
  - 2) スケジュール関係
    - ① 関東連盟にはイベント等の予定を仮置きして提出した。5月にトップ選手を招き、公認記録会と抱き合わせたイベントを検討する。

- ② 新設距離を考慮した公認記録会を想定し、実施予定日を再検討する。  
その際、高体連所属の選手が参加できるように配慮する。
- 3) 予算  
3月上旬をめどに原案作りを進める（県スポへの提出スケジュールに合わせる）
- 4) 規約関係  
現行規約に見直す部分があれば3月1日までに集約する（事務局担当）
- 5) 各種料金（物価上昇は見通せないが、当面は次の方針とする）
  - ① 協会費は据え置く
  - ② 指導者登録会員（高体連含む）とサポート会員（競技は行わないが、弓具管理や射場整備等協会活動をサポートする会員）を新設
  - ③ イベント参加者に一定の負担を求める（参加費を設定する）  
月例記録会など規定のイベントを除いて都度参加費を設定し、協会運営一般財源の圧迫を減らす。
  - ④ 月例会は集金の容易さ等を考慮するとともに消耗品等相当額としてワンコイン（500円）を設定
- 6) 費用弁償について（予算内とすることを条件に、下記のとおりとする）
  - ① スタッフ会議・公認記録会：1,000円
  - ② ジュニア育成：1,000～2,000円（別途活動計画と調整する必要あり）
  - ③ 消耗品および協会事業に係る交通費等：実費（県および県スポ事業は除く）
- 7) 協会ホームページについて
  - ① 現行ホームページは5月でサーバー等の契約が満了する。
  - ② 運用者がいない場合、現行ホームページを廃止し、機能を縮小した代替策を検討する。
- 8) 決算関係（県への報告締切日：3月14日）  
3月および4月の保険料は、協会費から支出（約2万円程度）する。
- 9) 総会関係スケジュール（総会開催予定日：4月13日（土））  
3月中に会員資格の更新を行うことを前提にスケジュールを組む。

3 その他

- 1) 県民総体表彰状取りまとめ依頼がきており、理事長と事務局で取りまとめる。
- 2) 射場の新ルールを早期にアナウンスできるよう具体的にとりまとめる。

以上